



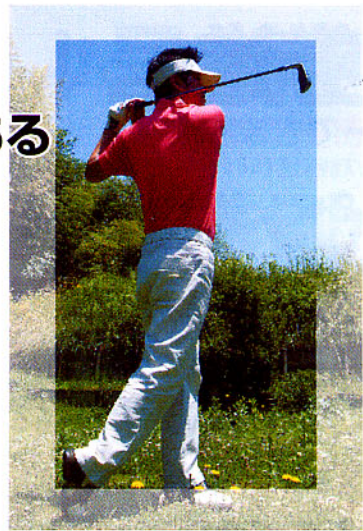
美しいフィニッシュにはその理由がある

フィニッシュはあくまでもスイングの「結果」です！

フィニッシュの状態、スッと自然体で体に負担なくバランスよく姿勢を保っているか、そして、しっかりと体が回ってきているか…がポイントとなります。

フィニッシュの形だけを無理矢理とってつけたようにまねしてもだめですよ！あくまでもフィニッシュはスイングの「結果」ですから……、

今まで学んできた「正しいスイング」を実行すればそれが結果として、美しいフィニッシュに結びつくのです。



●よく見られる ^{Bad!} フィニッシュの典型がこの2つです。●



逆C型フィニッシュ

逆Cの形でのフィニッシュ。いわゆる「のけぞり型」とでも言いましょうか、フック系のボールを打つ方に多いですね。また、体の柔らかいジュニアや女性の方にも多く見られます。スイング中に右から左への体重移動がうまくいってなくて、右足に残っています。このフィニッシュでは腰も痛めやすいですよ。



前折れ型フィニッシュ

フィニッシュで上半身が突っ込んでしまっています。下半身を使わず、腕の力だけで打ちにいてしまうとこういうフィニッシュになります。これではパワーが出ませんし、方向性も定まりません。スライス系のボールを打つ方や比較的力の強い方、年輩の方に多いパターンです。これも美しくナイですね。



これで楽み！

肩が充分回っています。

芯がぶれずにスッと自然にどこにも無理がないです！

●正しいフィニッシュを作ってみよう●

自分の正しいフィニッシュの形をイメージするために、時々下記の方法でチェックしましょう。これによって得られる形へスイングの流れの結果おさまるようになれば、ほぼあなたのスイングもOKということです。

- ①まずクラブヘッドをグリップの高さでまっすぐ構えます。
- ②そのまま正面を向いたまま、左肩にかたまります。
- ③そのままベタ足で飛球線方向へターンします。
- ④右足を送り、上半身が回りきって完了です。



ベタ足

送り込む→



今井純太郎 プロフィール

6年間アメリカにて今田竜二プロと共にコーチのリチャードエイベル氏に学ぶ。岡本綾子プロの師マイク小西氏、サンディエゴゴルフアカデミーにてゴルフスイング理論を学ぶ。2006年度ティーチング生徒2名がJPGA,JLPGAプロテストを受験し、共に合格。

ゴルフ雑誌「EVEN」月刊ゴルフダイジェスト 中日スポーツ等にレッスン記事執筆中。

